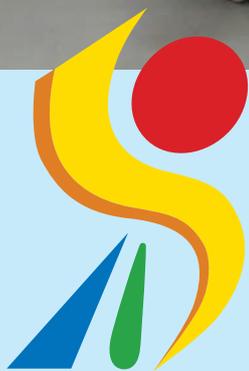




平成24年4月採用看護職員 新卒看護師



独立行政法人 国立病院機構

村山医療センターニュース

理念

患者さまの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。

基本方針

- 患者の皆様の権利と意思を尊重します。
- 安全で優しいチーム医療を提供します。
- 倫理を重んじ高度で先進的な医療を提供します。
- 地域医療連携の促進を図ります。
- 骨・運動器疾患の臨床研究を推進します。
- 職員は研鑽に励み、健全な経営に努めます。

第44号
2012.4

発行責任者 院長 臼井 宏

診療科のご案内

内科（呼吸器）

内科医長 岡田 泰昌



呼吸器は、一生にわたって絶え間なく酸素を取り込み、二酸化炭素を排出するという生命維持に必須かつ最重要な働きをしています。脳により自律的に形成された神経信号は呼吸筋を駆動して上気道を開くとともに胸郭を上げます。その結果、広がって陰圧になった肺内へ空気が入ってきます。枝分かれした気管支の先にある肺胞へ達した空気は薄い膜を介して心臓から送られてきた血液との間で酸素と二酸化炭素とを交換します。一呼吸ごとの吸気と呼気のパターン、リズムは、健康人では、睡眠中も運動中も最適な状態に調節されています。ただし、睡眠時には呼吸調節機能が不安定になりや

すく、一晩に何度も呼吸が停止し、その結果、睡眠障害、高血圧などを伴う睡眠時無呼吸症候群を罹患している方も少なくありません。特に、いびきをかく、肥満・高血圧がある、集中力が低下してきたなどの症状があれば、睡眠中の呼吸モニター検査が必要になる場合があります。一方、気持ちが高ぶると換気量が増えるように、呼吸は精神状態によっても影響を受け、逆に呼吸を整えることによって気持ちを落ち着かせることができます。比較的若い方に多いですが、過換気症候群が疑われる場合には、詳しい問診を行い、必要な生活指導、薬物療法を行っています。その他の原因による息切れ、呼吸困難感についても、当科で専門的な診療を行っています。

肺は、絶え間なく外気を吸い込むため、細菌、ウイルスなどの病原微生物を吸い込み、上気道炎、肺炎などの感染症に罹患しやすい臓器です。加齢、低栄養、ステロイド剤などにより免疫力の落ちた状態では、特に注意が必要です。呼吸器感染症予防のための生活指導、肺炎やインフルエンザの予防のためのワクチン接種、および様々な呼吸器感染症の治療を行っています。

能動喫煙、受動喫煙は、わが国における中高年の死因の最上位に位置する悪性疾患、心血管疾患、脳血管疾患の大きなリスクファクターですが、それら疾患の原因そのものとも言えます。さらに、近年患者数が増加している肺気腫（慢性閉塞性肺疾患・COPD）は、タバコ病そのものです。これら疾患の予防にはもちろん、国民一人一人の健康維持には、禁煙励行が重要ですが、喫煙者は、ニコチン依存症（ニコチン中毒）であり、禁煙は一人で試みても成功率は高くなりません。当科では、一人一人に合わせて無理のない禁煙法を指導しています。

気管支喘息については、発作のコントロールから、安定した状態の維持まで、一貫した診療を行っています。比較的安定した状態でも吸入ステロイド剤を積極的に用いることにより発作が全く出ないようにし、また、ハウスダストなど外因性の要因が関係している場合は、生活環境の改善を指導しています。

臨床研究センター 生体機能制御解析室

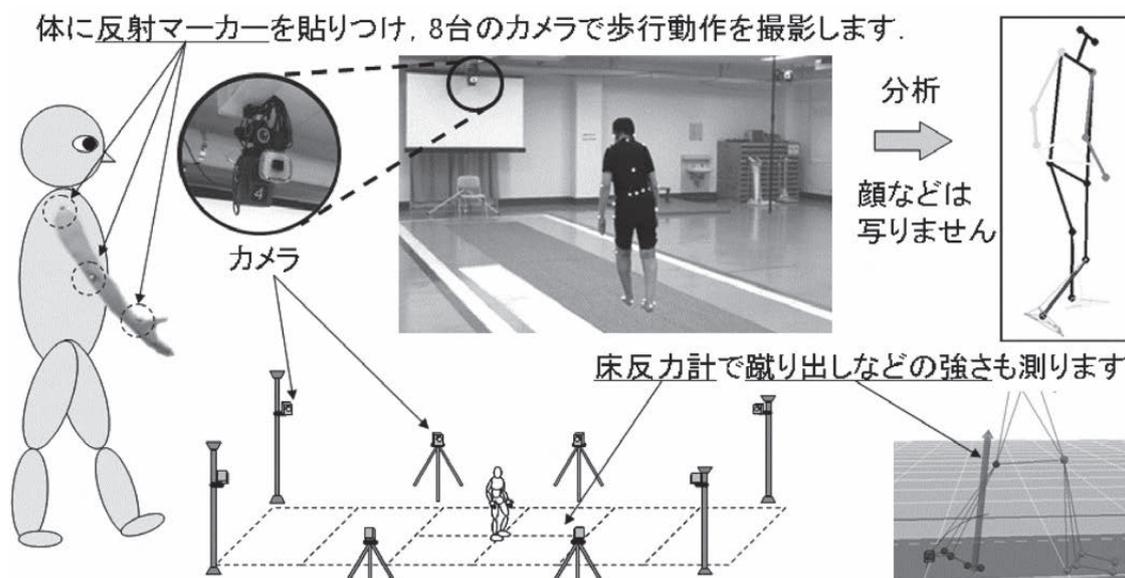
生体機能制御解析室長 武田 湖太郎

村山医療センターには、研究専門の部門「臨床研究センター」が併設されています。研究内容は、脊髄・骨・軟骨の再生といった基礎研究、バイオメカニズムを用いた障害者の生活の質の向上に関する研究など多岐に渡り、研究成果を世界へ発信しています。生体機能制御解析室では主に、骨・運動器疾患における歩行動作の分析という、比較的臨床に近い研究を進めています。



歩行動作の分析では、体の関節（肩・肘・手首・腰・膝など）に反射マーカと呼ばれる約1センチの球体を体に貼り、床の上を歩行して頂きます。歩行している時に8方向から特殊なカメラで撮影を行い、どのような歩行を行っているのかを分析します。撮影といってもカメラに写るのは体に貼り付けたマーカだけです。顔などが写りこむことはありません。また、床には床反力計が埋め込まれており、歩行時の踏み込みや蹴り出しの力などを計ります。現在は背骨や股関節の手術を行う患者さまを対象に、手術前後でどのように姿勢や歩行動作が改善したかといった分析を行っています。計測時にデータをお見せする事もできますので、興味のある方は是非おっしゃってください。

患者さまの安全を第一に、研究成果をより良い治療へ役立てるために今後も頑張ってお参りますのでよろしくお願い致します。



医療安全管理室の紹介

医療安全管理係長 齋藤 美晴

医療安全は、医療の質に関わる重要な課題であり、安全な医療の提供は医療の基本です。医療安全管理室は、村山医療センターの「患者さまの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します」という病院理念に基づき運営しています。

医療安全管理室の活動の目的は、患者さまと家族の皆様「安全で安心な医療を提供すること」、職員にとっても「安全で安心な職場であること」です。

安全な治療ケアの提供

臨床の場で患者さまに被害を及ぼす前に気づき、ヒヤリとしたりハットした体験を報告書として収集・分析し、具体的な改善策を提案していきます。分析結果を現場のスタッフに還元し、業務を改善することで事故を未然に防ぎ、患者さまにとって安全なケアが提供できるように貢献していきます。

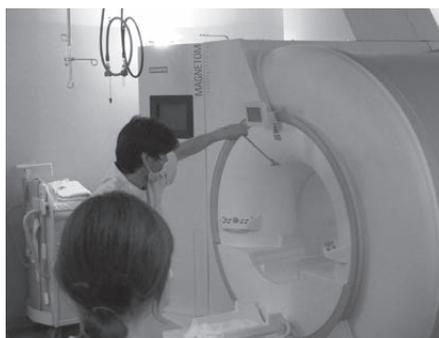
また、患者さまに影響を与えるインシデントが起こったときには、すみやかに事後の適切な対応を行っていきます。

職員の医療安全に対する意識の向上

各職場の医療安全風土を醸成すること、各個人の知識が向上することを目的に年間を通して研修を行っています。



AED研修



MRI磁場体験研修

患者参加の安全活動

チーム医療は医療の受け手である患者さまを抜きに語ることは出来ません。村山医療センターでは患者さまもチームの一員と考え、医療安全活動に参加いただいています。ご自分が受けている医療を意識し、確認をしていただくことが大切だと考えています。

ご協力をお願いします！



◎ご自分からフルネームを名乗って下さい。

患者さまご本人かどうか確認させていただくためにお名前を名乗っていただいています。また入院されました場合、リストバンドを着けていただいております。患者間違いを防ぐためご協力をお願いします。

◎転倒転落防止対策を一緒に考えましょう。

入院環境は住み慣れた自宅とは異なります。環境の変化に加えて、病気やケガによる体力や運動能力の低下により、思いがけない転倒やベッドなどからの転落の危険性があります。ご家族も含めて患者さまの情報を医師、看護師、理学・作業療法士などと共有し、予防策を検討させていただくこともあります。無理したり遠慮したりせずに医療スタッフを頼って下さい。

◎不安なこと、疑問点などは遠慮なくおっしゃって下さい。

患者さまやご家族がいつもと違うと思ったり、不安に感じたりしたことは遠慮せずに医療スタッフにお尋ね下さい。安全のための大切な情報として活用させていただきます。

転任の挨拶

事務部長 城腰 浩

4月1日付で、小平市にあります国立精神・神経医療研究センター総務課長から昇任で参りました事務部長の城腰（じょうのこし）と申します。

国立病院機構の病院勤務は4年ぶりとなりますが、患者さまの視点に立ったより良い療養環境作り並びに更なる地域医療連携の強化に向けて、事務部として努力する所存でございます。

どうぞよろしくお願いたします。



管理課管理課長 小関 洋佐

4月1日付で国立看護大学校教務課長から村山医療センター管理課長として転任して参りました小関洋佐と申します。村山医療センターでは平成17年度から2年間、経営企画室長を経験させていただいたところですが、初心に戻り管理課長の職責を果たせるよう努力する所存であります。また、「明るく、楽しく、前向きに」をモットーとし、仕事を推進して参りたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。



企画課 経営企画室長 長澤 俊視

武田信玄の地、甲斐の国で生まれ育ち、国立甲府病院採用から当院が11か所目の施設となりました。現在は中央林間に住居を構え、休日はバイクで近場をツーリングして楽しんでます。10か所経験した知識を元に1から初心に帰って新たな気持ちで邁進していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



臨床検査科 臨床検査技師長 内野 厳治

4月1日付けで下総精神医療センター検査科より配置換えになりました。生まれも育ちも東京・葛飾・堀切です。堀切は堀切菖蒲園が江戸の昔より有名で歌川広重の浮世絵にも描かれています。梅雨のうっとうしい時期に可憐な花菖蒲が咲き乱れ、梅雨のうっとうしさを忘れさせてくれます。普段は静かな下町もこの時期は多くの観光客で賑わいます。検査科職員精鋭9名、臨床により良い検査結果の提供に勤めたいと思います。



企画課 専門職 徳江 裕

4月1日付で、国立病院機構東埼玉病院よりまいりました専門職の徳江と申します。

10数年ぶりの医事での業務ということで不安な面が多々ありますが、村山医療センターではDPC準備病院としての対応やオーダリングシステム導入を控えており、今後益々忙しくなることが予想されるため、身が引き締まる思いで毎日勤務させていただいております。

皆様には不慣れな点から色々ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、少しでも皆様のお役に立てるよう努力していきたいと考えておりますので、お気軽に声をかけていただき、ご指導等をいただければ幸いです。

どうぞよろしくお願いたします。



企画課 入院係長 石井 一成

出身地：群馬県吾妻郡草津町

趣味：ソフトテニス、ゴルフ

挨拶文：平成24年4月1日付けで、群馬の草津温泉（国立療養所栗生楽泉園）より入院係長として着任した石井一成です。頑張りますので、よろしくお願いたします。



リハビリテーション科

副理学療法士長 吉田 みちる

出身地：兵庫県

趣味：登山、旅行

挨拶文：東京病院から転勤しました。よろしくお願いたします。



診療放射線科 撮影透視主任 河野 卓史

出身地：山梨県（東久留米市育ち）

趣味：ツーリング（レンタル）です

挨拶文：はじめまして、4月1日付で清瀬市に在ります東京病院より放射線科撮影透視主任に転任となりました河野卓史と申します。前施設は呼吸器の専門病院で主に胸部の撮影をしておりました。今回の異動で整形外科専門病院としての特殊な撮影に苦戦の毎日ですが、1日も早く習得して村山医療センターの一員として皆様のお役に立てるよう努めていく所存です。どうぞよろしくお願いたします。



リハビリテーション科
運動療法主任 高橋 宏幸

出身地：静岡県沼津市
趣味：「通勤時の読書」が趣味になりそうです
挨拶文：神奈川病院より昇任で参りました。今年度も新しい勉強テーマを見つけて楽しみながら仕事をしていきたいと思っております。よろしくお願ひ致します。



リハビリテーション科
運動療法主任 草場 徹

出身地：東京都
趣味：旅行
挨拶文：村山は生活圏なので知り合いに会ってしまわぬかと公私ともにヒヤヒヤの毎日。宜しくお願い致します。



リハビリテーション科
運動療法主任 藤田 龍一

出身地：埼玉県所沢市
趣味：ゴルフ
挨拶文：実習でお世話になった村山医療センターにまた来れて、うれしく思っています。病棟と連携を図ってがんばりますので、よろしくお願ひ致します。



リハビリテーション科
一般作業療法主任 今田 雅子

出身地：広島県広島市
趣味：旅行、食べること
挨拶文：こんにちは！新しい職場でアタフタしていますが、笑顔で頑張りますので宜しくお願い致します^-^



リハビリテーション科
理学療法士 崎野 貴光

出身地：東京都
趣味：映画鑑賞
挨拶文：西埼玉中央病院から転任してきました崎野と申します。まだ不慣れですが、宜しくお願い致します。



6病棟看護師 尾方 弘毅

出身地：東京都立川市
趣味：総合格闘技、スキューバーダイビング
挨拶文：今年度より6病棟に勤務させて頂いています尾方です。未熟者ではありますが、何卒よろしくお願ひ致します。



8病棟看護師 有馬 雄一

出身地：鹿児島県
趣味：映画鑑賞
挨拶文：このたび8病棟に配属となりました。患者さまが少しでも早く家庭や社会に戻れるように看護をおこなっていきたく思います。宜しくお願い致します。



新任の挨拶

リハビリテーション科医師 沖塩 尚孝

出身地：静岡県
趣味：運動すること
挨拶文：様々な障害をかかえつつ、生活していく患者さん、その障害自体に、そしてそこから派生する、患者さんご家族の抱える問題に対し、リハビリ科の医師は対応します。困っていることをお話しください。



整形外科専修医 町田 真理

出身地：東京都練馬区
趣味：野球
挨拶文：4月から村山医療センター整形外科専修医として勤務している、町田真理と申します。現在初期臨床研修2年を終え、整形外科としては1年目です。わずか2年ですがそこで得た内科的な知識とこれから習得する整形外科の知識や技術をいかしていきたいと思っております。宜しくお願い致します。



医療社会事業専門員 小野 亜希子

出身地：東京都三鷹市
趣味：原付でのツーリング（最長で浜松まで行きました♪）
挨拶文：4月からソーシャルワーカーとして入職しました小野と申します。病院の窓から見える富士山や花たちは癒しの存在です☆そんな素敵な地域・病院で少しでも皆様のお役にたてるよう、信頼ある相談しやすいワーカーを目指して明るく元気に日々精進してまいります。よろしくお願いいたします。



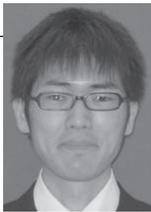
リハビリテーション科 理学療法士 佐藤 みなみ

出身地：東京都
趣味：バレーボール
挨拶文：4月から採用になりました、PTの佐藤みなみです。どうぞ宜しくお願い致します。



リハビリテーション科 作業療法士 荒川 洋平

出身地：神奈川県横浜市
趣味：ツーリング
挨拶文：初めまして。4月から作業療法士として入職しました。不安と期待でいっぱいですが、頑張りたいと思います。



リハビリテーション科 作業療法士 佐々木 由之

出身地：東京都文京区
趣味：映画・海外ドラマ鑑賞・ラーメンの食べ歩き
挨拶文：作業療法士として早く一人前になれるように汗をかいて頑張っていきたいと思います。よろしくお願いいたします。



2病棟看護師 池田 愛美

出身地：東京都
趣味：フラメンコ、日帰り温泉（岩盤）に行くこと
挨拶文：患者さんにも同僚にも信頼されるナースを目指して頑張っていきたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。



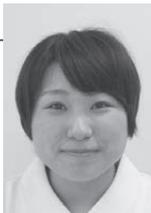
2病棟看護師 田沼 奈緒子

出身地：東京都
趣味：料理
挨拶文：笑顔をもっとに、患者さまに元気を与えられるような看護師になれるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



2病棟看護師 星野 友希

出身地：東京都高尾市
趣味：バレーボール、ドライブ、色々な景色を見ること
挨拶文：これから様々な人に出会い多くの事を身につけていける事が楽しみです。感受性豊かに向上心高く頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



3病棟看護師 吉岡 晃

出身地：東京都練馬区
趣味：動物と戯れること
挨拶文：真摯に、やりがいを持って患者さまとお互いに気持の良い看護を提供出来ることを目標に頑張りたいと思います。



3病棟看護師 西嵜 智美

出身地：東京都中野区
趣味：音楽鑑賞、カラオケ
挨拶文：社会人としてのマナーも学び、看護師として患者さまに信頼される看護を提供できるよう日々努力したいと思います。



4病棟看護師 太田 友美

出身地：東京都
趣味：ショッピング
挨拶文：笑顔を忘れず、患者さまひとりひとり丁寧に接していける看護師を目指して頑張りたいと思います。



4病棟看護師 竹松 翔子

出身地：東京都青梅市
趣味：バレーボール
挨拶文：この度4病棟に配属になりました。不安もありますが出来るだけ早く自立出来るように頑張ります。よろしくお祈りします。



4病棟看護師 藤田 かおり

出身地：東京都立川市
趣味：ダンス、ゲーム、半身浴
挨拶文：このたび4病棟に配属となりました。「いつでも笑顔」をモットーに患者さまに安心感を与えられるよう頑張ります。



6病棟看護師 瀬尾 さな子

出身地：茨城県
趣味：バスケットボール
挨拶文：6病棟に配属となりました瀬尾さな子です。村山医療センターでたくさんの方の事を学び、日々成長していきたいと思っています。



6病棟看護師 河合 貴文

出身地：東京都立川市
趣味：フットサル、パズル
挨拶文：6病棟に配属されました河合です。性格は明るい方で1つ1つ前向きに成長していきたいと思っています。



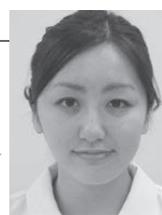
7病棟看護師 岩井 雅和

出身地：埼玉県
趣味：大型バイクでツーリング
挨拶文：この度、新規職員として4月1日より、7病棟に配属された岩井雅和です。自分は海上自衛隊出身です。この病院で専門的な看護を通して患者さまに在宅復帰していただけるよう、ケアを提供させていただきます。



7病棟看護師 高橋 日彩子

出身地：東京都
趣味：家庭菜園
挨拶文：「笑顔でまっすぐ前向きに」がモットーです。看護師として社会人として成長していけるように頑張ります。



7病棟看護師 渡辺 舞

出身地：福島県いわき市
趣味：映画をみること
挨拶文：地元が大好きで東京にもまだ慣れない田舎者ですが、笑顔で元気ががんばりたいと思います。よろしくお祈りします。



8病棟看護師 金子 弘明

出身地：山梨県
趣味：ドライブ、ソフトテニス
挨拶文：この度8病棟に配属となりました金子弘明です。患者さんの思いを受け止め、前向きに生活するための支援を行っていききたいと思います。



8病棟看護師 山名 里奈

出身地：千葉県
趣味：散歩
挨拶文：脊髄損傷は損傷部位によって、障害の程度が様々です。社会復帰に向けてその人に合わせた体と心のサポートを行える看護師を目指します。



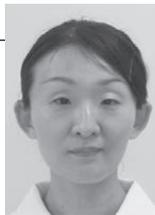
9病棟看護師 岡本 詩織

出身地：東京都府中市
趣味：ソフトボール
挨拶文：無事に看護師になれた嬉しさと、今後に対する不安といった様々な思いがありますが、精一杯頑張っていきたいと思います。



9病棟 平原 知子

出身地：東京都
趣味：映画鑑賞
挨拶文：学生時代に実習でお世話になった村山医療センターに入職でき、とてもうれしいです。どうぞ宜しくお願いします。



9病棟看護師 中嶋 良樹

出身地：東京都八王子市
趣味：野球、スノーボード、写真
挨拶文：看護師を志すきっかけになった病院で働く事が出来、期待と不安で心を踊らせています。よろしくお祈りします。



9病棟看護師 井上 なな

出身地：東京都八王子市
趣味：外出
挨拶文：性格は不器用ですが手先は器用で、ピアノから編み物、煮物までこなせる都会派です。



中学生の職場訪問学習受け入れについて

去る、2月10日に武蔵村山市立第一中学校の1年生3名が当センターに来てくれました。この職場訪問学習の目的は、職業について学ぶことと、働く人と直接接することにより、自分の将来に夢を持ち自己実現のために努力する気持ちを育むことです。

9病棟看護師 峰岸 幸子

時間は1時間余りでしたが、院内、病棟内の設備やスタッフステーション、病室内など普段は足を踏み入れることのないところで実際に働いている医療者を見てもらいました。中学生達の、意外なところに興味を示したりする姿に新鮮な刺激を受けると共に、きちんと気持ちの良い挨拶ができるなどの態度に感心しました。

「今、どういう勉強をしたら良いですか」との質問に、「学校での勉強は勿論ですが、友達やお父さん、お母さんとたくさん話をしてください。今、メールなど文字で話をするが増えていると思いますが、直接話をして相手の表情や仕草を見ながら今どのような気持ちで話しているのか感じとって欲しいです」と答えました。

社会の一員として働くということを考える訪問学習に、ほんの少しですがお手伝いできたことを嬉しく思います。



リハビリテーション科 理学療法士長 星 永剛

リハビリ理学療法部門では全体のオリエンテーションの後、理学療法士としてきらきら光輝く就職1年目の理学療法の治療場面に同席し患者さまを含めて真剣ななかにもなごやかな時間を過ごしました。

これらの活動を通じて、将来の日本を背負っていくであろう生徒さんの夢や希望につながればと思います。以下担当理学療法士のコメントです。

福田恭平：まだまだ多くの可能性を秘めているので今回の体験が将来を選択していく一助になればと思います。

池田竜士：将来像を具体的に思い描くことは難しいですが、何事にも興味を持ち、能動的に日々前進してほしいと思います。

滝野 陽：私は理学療法士になりたいと思い、無事なることができました。今回見学した中学生の皆様がやりたいと思う職業に就けるよう陰ながら応援していきたいと思っています。

副薬剤科長 内野 悦夫

村山1中から女子2名、男子1名の学生さんが、職場訪問学習として当院薬剤科に来ました。薬剤師の仕事について、話をした後は、学生さんからの質問を受けることにしました。「何故、薬剤師になろうと思ったのですか。」「薬剤師になって良かったと思う時はどんな時ですか。」など真剣な表情で尋ねられ、自分は中学生の時にこんなに真剣に将来の事を考えただろうかと恥ずかしささえ感じました。1名の学生さんは、薬剤師に将来なりたいたいとのことで、明日の医療の担い手がこのような機会を通じて誕生したら素晴らしい事だと思います。

院内臨床研究発表会を開催して

臨床研究センター長 町田 正文

恒例の院内臨床研究発表会を2月25日土曜日1時より、看護部、検査科、放射線科、リハビリテーション科、医師の各部署から15人が23年度1年の研究成果を発表しました。それぞれの部署がどのような研究をしているかは、部署が変わればわからないことが多いと考えられますが、このような発表の場を設けることによって、お互いに理解し合えると同時に研究の援助にも繋がるかと思われます。また、発表者も職場について2年目から私のような高齢者まで多々であり、異なる部署からの質問もあって、対外的な学会の発表および答弁の練習にも意義あるものと思っております。

発表者のなかから、とくに優秀な演者には優秀賞として3月31日の管理診療会議の前に表彰しました。これらの優秀な研究成果は、どこの研究会で発表しても高い評価を受けるものと思われ、さらなる研究成果の発展を希望します。残念なことは、まだまだ発表演題および出席者が少ないことです。さらなる村山医療センターの臨床研究の発展をめざして、今から各部署で研究を開始しましょう。



第13回市民公開講座『骨粗鬆症と高齢者の骨折』を開催して

臨床研究センター長 町田 正文

3月24日土曜日、午後1時より武蔵村山市市民総合センターにて市民公開講座を開催しました。開催を計画した4ヶ月前にはこの頃であれば暖かくなり、桜の開花も聞けることと思いき、開催日およびテーマを決めましたが、例年になく今年は冬の気候が長引いたうえ、当日は開催されるまで寒気と雨で、ご聴講戴いたご高齢の方には大変申し訳なく思う反面、とても有り難く思いました。市民公開講座および健康相談が終了時点には雨も止み、春らしい暖かい日になってきたのには驚くと同時に、聴講された方には転倒することなく帰っていただけるように天も考えてくれたものと推測しております。

今回は骨粗鬆症を身近に理解していただけるように、骨粗鬆症の総説、食餌療法、薬物療法、合併症の骨折について説明致しました。講演後には多くの質問があり、また健康相談も聴講された方全ての方がされました。骨粗鬆症は最近、多くの国民に理解されておりますが、実際の治療率は12～24%と低く、骨折をして初めて骨粗鬆症の重大さを知ることになります。骨粗鬆症の骨折は欧米では減少傾向にありますが、いまだ日本は増えております。骨折の予防に繋がる治療率の向上に向けて、さらなる啓発運動を行うことが必要と痛感しております。



北多摩地区『地域支援講座』

リハビリテーション科医長 植村 修

『1. 摂食・嚥下障害』

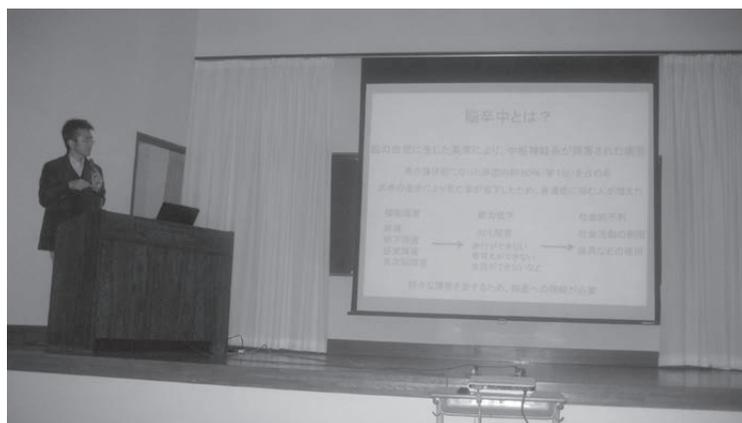
当院は東京都より北多摩西部二次医療圏における地域リハビリテーション支援センターの指定を受けています。その名が示すとおり、地域のリハビリテーションの中心として様々な情報発信を行ってきました。なかでも地域のリハスタッフに向けた啓蒙活動は、我々が最も力を入れている活動の一つです。さて、さる平成24年2月22日に、今までの活動の中でも特にニーズが高く、かつ好評であった“地域支援講座～摂食・嚥下障害～”を開催しました。当日は、平日で遅い時間にもかかわらず多くの地域のリハスタッフの方々にご参加頂きました。実技講習も行われ、多くの参加者にとって実り多き会であったと確信しております。今後もこのような機会を多く作ってまいりますので、どうかご期待下さい。最後になりましたが、参加して下さいました方々、講師を引き受けて下さったスタッフ、裏で会の運営を支えて下さった関係者に深く感謝いたします。



リハビリテーション科医長 植村 修

『2. 退院準備から在宅ケアへ』

桜もまだ遠く感じるさる3月17日、当院が東京都から指定を受けている地域リハビリテーション支援センターの重要な事業の一つである地域支援講座を開催しました。標題を“退院準備から在宅ケアへ～安心できる在宅生活のために～”とし、当センターとしては初めての院外での活動となりました。ご家族が入院中で、しかし自宅退院の予定が近付いているのに何を準備していいかわからない。そういう心配を抱く患者家族は少なくないと思われます。そういった方々に、我々が持っている情報の一部を提供させていただくことでいくらかの支援になればと考えた結果です。当日は肌寒い雨の降る中、残念ながら多くの参加者というわけにはいきませんでした。広報不足であったと、心から反省いたしました。それでも参加頂いた聴衆の方々には少なからずお力になれたのではないかと信じ、今回の参加に心から感謝いたします。



日本褥瘡学会関東甲信越地方会 「東京支部フォーラム」「東京都在宅褥瘡セミナー」 を開催して

医療安全管理係長 齋藤 美晴

日本褥瘡学会関東甲信越地方会では、病院で働く医療者や在宅療養者のケアを行う医療者に向け年に1回セミナーを開き、褥瘡ケアの最新知識や技術を提供しています。

今年は当院が会長施設となり、平成24年3月10日（土）あいおいニッセイ同和損保新宿ホールで開催しました。皮膚・排泄ケア認定看護師の板倉を中心として、褥瘡対策委員会で講演の企画や資料作り、会場の運営まで約半年かけて準備しました。

当日は小雪がちらつく天候の中、群馬・茨城など関東甲信越地区から、医師・看護師・薬剤師・理学療法士など、各職種の参加者で400名近くになり盛況でした。

在宅褥瘡セミナーでは、当院の摂食嚥下ワーキンググループが「嚥下障害とポジショニング」というテーマで講演しました。「食べる」ということの仕組みや、食べる姿勢の整え方、口腔ケアについて豊富な事例や写真を使って説明し、とてもわかりやすかったと好評でした。他には褥瘡を治すための基本的な知識から研究の成果まで、盛りだくさんの内容でした。今回の講義を実際の患者さんにぜひ活かしていただきたいと思いました。

(「^{じよくそう}褥瘡」 = 「床ずれ」のこと)





「骨粗鬆症を予防する食事」～3月24日市民公開講座より抜粋～

栄養管理室 山田 直子

骨を強くするためには“カルシウムが重要”ということは広く知られていますが、予防のためにはカルシウムだけを考えるのではなく、まずバランスの良い食事をして1日に必要な栄養をとることが大切です。「骨粗鬆症の予防と治療ガイドライン2011年度版」でも、栄養素（食事）全体を考えたうえで、カルシウムをとることとされています。またカルシウム以外にビタミンDとビタミンKをとることが推奨されています。

栄養素	働 き	多く含む食品
カルシウム	・骨や歯の形成 ・筋肉を動かし心臓の鼓動を保つ	牛乳・乳製品、頭から食べられる小魚類、干しえび、緑黄色野菜、海藻、木綿豆腐や生揚げ、高野豆腐、がんもどき、納豆など大豆製品
ビタミンD	・小腸でのカルシウム吸収を促進 ・血液中のカルシウム濃度を一定に保つ	魚、きのこ類、うなぎ、さんま、シラス干し
ビタミンK	・骨の石灰化 ・血を凝固させる作用	納豆、緑の葉の野菜

例えば、ビタミンDは鮭の切身1切れ、ビタミンKは納豆1パックを食べることで、骨粗鬆症予防のための推奨量が簡単にとれます。カルシウムは平成22年国民健康・栄養調査結果では、各年代のいずれも日本人の食事摂取基準での推奨量を満たしていませんでした。

カルシウムを意識してとるためのポイントを下記に示します。実行してみてもいいでしょうか。

- ① 牛乳、チーズ、ヨーグルト、豆腐から欠かさず2品とる
- ② 加えて緑葉色野菜を2品とる
- ③ 魚介、海藻類も積極的にとるようにする

新しい宿舎が完成しました

平成24年3月30日に新しい宿舎が1棟建ちました。すでに10部屋すべての部屋に職員が入居しました。

入居者には4月の新規採用の職員もいれば、4月以前から在職している職員もおります。それぞれの職員が真新しい宿舎に住むことで、プライベートの時間を楽しみ、リフレッシュして、仕事では患者さまのために良い医療の提供に尽くしてくれることと思います。



患者さまの権利と責任

1. 個人の人格は尊重され、安全で良質な医療を受ける権利があります。
2. 自分の受ける医療について、十分な説明を受けた上で自分の意思で医療の選択をする権利があります。
3. 自分の受ける医療に対し、不明な点は質問することができ、診療情報の提供を受けたり、開示を求める権利があります。
4. 個人の情報を直接医療に関わる医療従事者以外の第三者に開示されない権利があります。
5. 自分の受ける医療について、別の病院を受診したり転院することができます。その際、十分な診療情報の提供を受ける権利があります。
6. 自分の健康に関する情報を正しく提供し、また他の患者の診療に支障をあたえず、医療従事者と協働して医療に参加する責任があります。

臨床倫理指針

1. 患者さまの人格、信仰、意思等を尊重し、説明と同意に基づく患者さまの自己決定を優先します。
2. 患者さまのプライバシーを尊重し、守秘義務の遵守と個人情報の保護を徹底します。
3. 患者さまの尊厳及び人権に関わる医療については、臨床倫理委員会で審議を行い、方針を決定します。
4. 関係法規、ガイドラインを遵守し、検査・診断・治療・研究を行います。
5. 医療の発展のために積極的に臨床研究を行い、その実施においては倫理審査委員会において十分検討をおこないます。

平成23年度患者数の推移

【入院】（1日平均入院患者）

診療月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
合計	190.5	196.3	204.2	214.9	225.6	219.1	228.6	245.8	241.8	241.9	261.4	264.3	227.8

【外来】（1日平均外来患者）

診療月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
合計	211.4	216.5	202.9	203.1	201.9	207.5	202.3	209.8	212.4	206.4	197.1	213.7	206.9

外 来 診 療 担 当 医 師

H24.4現在

受付時間	診療科等	月	火	水	木	金	備 考	
一 般 外 来	内 科	山 縣	山 縣 志 方	山 縣 志 方	岡 田	岡 田 杉 本		
	外 科	瀬 川	瀬 川	青 木	瀬 川	青 木	月曜日のみ 午後診療です (13:00~15:00)	
	整形 外科	再診	白井[関・整] 竹光[脊・整] 田邊[手・整] (午前のみ)	福田[脊・整] 藤吉[脊・整] 名越[脊・整]	塩田[脊・整] 武田[関・整] 八木[脊・整]	町田[脊・整] 金子[脊・整] 白井[関・整]	笹崎[関・整] 長谷川[脊・整] 飯塚[脊・整]	黒字：側 弯 白字：脊髄損傷
		初診	交替制	交替制	交替制	交替制	交替制	
	リハビリテ ーション科	宇 内	植 村	森	沖 塩	交替制 第5金曜日は休診	第1金曜…森 2 …植村 3 …宇内 4 …沖塩	
歯 科	宮 本	宮 本	宮 本	宮 本	宮 本	宮 本	予約制	
専 門 外 来	手の外来				田 邊			
	内 科 リウマチ				山 縣		予約制	
	整形リウマチ スポーツ外来(下肢)			笹 崎			予約制	
	側 弯	斎 藤 第4週のみ			町 田 金 子	町 田 福 田 第2・3週	予約制	
	骨粗鬆症				町 田		予約制	
	装具外来 (リハ棟)	植村・森 宇内・沖塩(※午後)					予約制	
セカンドオピニオン (整形外科)						予約制		

診療について

整形専門分野
(脊) 脊椎・脊髄
(関) 股・膝関節・下肢
(手) 手・上肢
(整) 整形一般

診 療 日 月曜日～金曜日（祝日及び年末年始は除く）

診療受付時間 初診の方 午前8時30分～午前11時00分

再診の方 午前8時30分～午前12時00分

※急患は（整形外科）随時受付けております。

専門外来については医事窓口にてお問合せ下さい。

毎月初めに保険証の提示をお願いします。変更のあった場合はお知らせ下さい。

独立行政法人国立病院機構 村山医療センター

〒208-0011 東京都武蔵村山市学園2-37-1

TEL 042-561-1221 (代) FAX 042-564-2210

URL : <http://www.murayama-hosp.jp/>

川島整形外科

院長あいさつ

緑豊かな多摩地区、小平市学園東町の地に川島整形外科を開院して、そろそろ3年になります。当院は、地域の整形外科、リウマチ専門クリニックとして、最適かつ、質の高い医療を提供することを信念にスタッフ一同、日々診療にあたっています。

また、手外科学会専門医として、上肢（手、肘、肩、末梢神経）疾患の診断、治療も特徴の一つとしており、上肢疾患で来院される患者さんも多くなっています。

整形外科を受診する患者さんの中で、脊椎の病気による頸肩部、腰背部の痛み、また坐骨神経痛をはじめとする神経根障害は非常に多くの割合を占めます。当院では、物理療法や薬物療法のみならず、理学療法士による理学療法や、より疼痛の強い方には硬膜外ブロックや神経根ブロックを、積極的に取り入れて早期の除痛と、社会復帰を目指しています。多くの方が手術をしない保存療法で通常の生活に復帰されていますが、残念ながら保存療法の効果が不十分な方がいるのも事実です。幸い、村山医療センターは国内屈指の脊椎、運動器の中核病院で、院長先生の臼井先生、手術部長の塩田先生をはじめ、慶應義塾大学同窓の心強い先生方がいらっしゃいます。神経ブロックを含む保存的治療で効果が不十分な方や、脊髄障害が明らかな方は、村山医療センター脊椎グループの先生方にいつもお世話になっております。また、臼井先生、笹崎先生、武田先生が着任以来、人工股関節、人工膝関節の手術が飛躍的に増加していると聞いております。忙しい合間を縫って、至急を要する患者さんの時間外の診察を心よく引き受けて頂いたり、また何より困難な手術をいつもの確に行って頂いていることにこの場を借りて感謝いたします。

当院は、今後も村山医療センターとの医療連携をもさらに大事にしつつ、心のこもった最高の医療を通して、地域の皆様に信頼・ご満足をいただけるよう、スタッフ一同頑張りますので、どうぞよろしく致します。



院長 川島秀一 先生



診療科

整形外科 リウマチ科 リハビリテーション科
ペインクリニック

受付時間

月～金：午前 8:50～12:30、午後 14:30～18:30
土：午前 8:50～13:00

休診日

日曜日・祝日

住所 東京都小平市学園東町1-4-33
西武多摩湖線一橋学園駅北口徒歩1分
電話 042-348-3711
ホームページ：<http://www.k-seikei.com/>